



## 応援ってこんなに楽しい!

自分で体を動かすだけでなく、応援・観戦もスポーツの楽しみ方の一つ。

選手は観客の応援によってパワーをもらっています。

応援することが選手の頑張りにつながり、私たちも元気や勇気もらえるのです。

ここでは東京武蔵野ユナイテッドFCの試合を応援する  
皆さんの声をお届けします!



純恵さん

猪羽次郎さん

ファミリーで応援するお客さんも多くアットホームな雰囲気です。

社会人サッカーをやっていた時に武蔵野ユナイテッドの鈴木大河選手と知り合いになって、今日初めて試合を観戦してきました。選手も健闘していて応援しがいがありますね。



なつみさん

数年前に三鷹駅で「目指せJリーグ」という垂れ幕を目にしたのが武蔵野ユナイテッドの試合を見るようになったきっかけ。“推し”はグイグイと点を取りにくいFWの小口大司選手です!



原川直さん

武蔵野ユナイテッドは地方も含めて全試合応援しに行っています。選手とスタッフ、サポーターとの距離の近さ、家族的な雰囲気が最大の魅力です。

# みんなでスポーツを応援しよう!

武蔵野市のスポーツ推進計画では、「応援・観戦」もスポーツと関わるうえで大切なこととして位置づけています。市内にはいくつものスポーツクラブチームがあり、競技場やスポーツ施設も充実。みんなで楽しく応援・観戦できる環境が整っています。



市内に住んでいた  
り市内の学校に通  
っている小中高校  
生は無料で試合が  
見られるよ!

武蔵野陸上競技場  
で試合を見る時は、  
いつも芝生の土手  
でワイワイ応援し  
ています。



今日はサッカースク  
ールの後藤京介コー  
チがスタメン!

横河武蔵野  
サッカースクールに  
通う子どもたち



武蔵野ユナイテッドの  
ファン歴は10年ほど。  
ほぼ毎試合観戦してい  
ます。長年応援してい  
るとチームの変化や選  
手の成長が分かって面  
白いですよ。

女子サッカーを描いた漫  
画『さよなら私のクラマ  
ー』でサッカー好きにな  
って学校のサッカークラ  
ブに入りました。武蔵野  
ユナイテッドは父と一緒  
に応援しています。

最近、中国から日本  
に来ました。武蔵野  
陸上競技場は初めて  
来ましたが、とても  
良い雰囲気です。応援す  
るファンも活気があ  
りますね。



兄弟で横河武蔵  
野サッカースク  
ールに通ってい  
ます。

武蔵野ユナイテ  
ッドの選手は子ども  
たちにいつも優し  
く接してくれるの  
がうれしいですね。

# ラブを応援しよう!

あります。身近な場所でも試合が開催されているので、ぜひ応援してください。

## 東京武蔵野ユナイテッドFC (フットボールクラブ)



1939年に横河電機サッカー部として創設され、現在JFL (日本フットボールリーグ) に所属するクラブとしては最古の歴史を持ちます。横河武蔵野FC、武蔵野シティFCを経て、2021年から横河武蔵野スポーツクラブが運営する東京武蔵野ユナイテッドFCに。



多くの地元企業、地元住民の支えがあり、サッカーに真剣に取り組める環境が整っています。夢はホームの武蔵野陸上競技場で、満員の中プレーすること! 多くの方に応援してもらえるチーム作りを目指します。

キャプテン 小林大地選手



## ・ひと・スポーツの創生”をサポート

的に参加。まちの活性化や人の育成、文化の創出にスポーツの力が生かされています。

### 育成

横河武蔵野スポーツクラブは、市、市教育委員会、武蔵野文化生涯学習事業団と相互協力に関する協定を結んでいます。1997年から幼児と小学生を対象とした武蔵野文化生涯学習事業団主催の「武蔵野ジュニアサッカー教室」に指導員を派遣。また、ラグビーでは、第五中学校ラグビー部への指導員の派遣や小学校タグラグビー教室のサポートを市と連携しながら実施。そのほか、市内で開催される各種スポーツイベントへの参加や運営支援なども行いながら地域との結束を高めています。



子どもたちには生涯を通じてサッカーを楽しめるような基本技術とともにチームプレーに必要な習慣を身に付けてほしい。団体活動を通して、豊かな個性を発揮できる選手を育成するのが私たちの目標です。



東京武蔵野ユナイテッドFC監督 石村俊浩さん

横河武蔵野スポーツクラブでは、4歳児から小学6年生までを対象とした「横河武蔵野サッカースクール」と、選抜された高学年の小学生、中学生、高校生を対象とした「横河武蔵野FCアカデミー」を運営。個性を最大限に伸ばしながら、サッカーの技術だけでなくチームプレーに必要な習慣を教えています。またラグビーでは、中学校の部活動に指導員を派遣するなど、ラグビー界で活躍できる人材の育成に取り組んでいます。

# 地域のスポーツ

市内には、地域に根差して活動するトップレベルのスポーツクラブチームが

## 横河武蔵野アルテミ・スターズ

横河武蔵野スポーツクラブが運営する女子ラグビークラブとして2017年に発足。アルテミスはギリシャ神話の狩猟の女神で、



そこに横河武蔵野アトラスターズから兄妹チームの証として「スター」をもらいアルテミ・スターズと命名されました。



キャプテン 山本和花選手

大学生から社会人まで40名の選手が、高い志を持ち刺激し合い日々練習に励んでいます。現在行われている15人制の大会で日本一を獲ります！応援よろしくお願いします！

## 横河武蔵野アトラスターズ

前身は、戦後まもなく発足した横河電機ラグビー部。現在は武蔵野市を拠点に活動する横河武蔵野スポーツクラブが運営する



トップイーストリーグAグループ所属の男子ラグビークラブ。チームスピリッツは「Brothers in Arms」。



キャプテン 山田皓也選手

チームスピリッツは“Brothers in Arms”（兄弟のような絆で結ばれた集団。お互いのために命も顧みず戦う集団であろう）。この言葉を胸に日々練習に取り組んでいます。

## トップチームも積極的に参加 “まち

市内のクラブチームは市や地域と連携しながらさまざまなイベントや地域貢献活動にも積極

### 地域交流・地域貢献

#### 藤村女子中学・高等学校との連携

市内の藤村女子中学・高等学校と東京武蔵野ユニテッドFCは相互協定を結び、選手が「ふじむら祭」に参加するなど、サッカーを通じた交流を図っています。



#### 市ファミリースポーツフェア

市スポーツ推進委員が開催するスポーツイベントに、東京武蔵野ユニテッドFCもミニサッカーコーナーで参加。選手が直々に子どもたちのサッカー体験をサポートしました。



#### 清掃活動



吉祥寺駅前では地域の店舗などが中心となって定期的に行う清掃活動に東京武蔵野ユニテッドFCの選手も参加。繁華街の美化に貢献しています。

#### Sports for All 吉祥寺×ラグビー



市のオリンピック・パラリンピック関連イベントに、横河武蔵野アトラスターズとアルテミ・スターズの選手が参加。吉祥寺の街中に設置されたラグビーコートでリフトアップやタックルなどのラグビー体験を行いました。



# スポーツを軸に 地域とそこに住む 方々を元気に

東京武蔵野ユナイテッドFC代表  
三富健大さん

東京武蔵野ユナイテッドFCは、市内に本社を置く横河電機株式会社を母体として設立した一般社団法人横河武蔵野スポーツクラブに所属しています。リーグ加盟を目指していた時期もありましたが、地域に根差して社会貢献をするサッカークラブの原点に立ち返りたいとの思いから、現在は企業・チーム・市の三位一体で地域スポーツを盛り上げるクラブチームとして活動しています。

市は生涯スポーツの推進にも日々積極的に取り組んでいるので、連携をするうえでもやりやすさを感じています。市が主催するスポーツイベントなどに協力しながら、逆にこちらから「こんなことできませんか？」と提案することもあります。スポーツを軸にしながら、地域とそこに住む方々が元気になれるような新たなクラブチーム像を生み出したいと考えているところです。

私たちは武蔵野陸上競技場という素晴らしい環境をホームに使わせてもらっています。試合がある日はキッチンカーや縁日を出して「地域のお祭り」のような場に出ているので、ぜひ気軽に遊びに来てください。そして、何より皆さんの応援が選手のモチベーションになるので、熱い声援をいただけたらうれしいですね。

## スポーツ観戦を楽しもう！

年末年始は、ラグビー女子日本代表候補も多く在籍する横河武蔵野アルテミ・スターズの闘志あふれる熱い試合を楽しみませんか。

### OTOWAカップ 第34回 関東女子ラグビーフットボール大会

12月24日(日) 午後3時～ | 府中朝日フットボールパーク  
横河武蔵野アルテミ・スターズ vs 立正大学アルカスバーリアンズ

1月6日(土) 午前11時30分～ | 上柚木公園陸上競技場  
横河武蔵野アルテミ・スターズ vs 日本体育大学ラグビー部女子

※男子ラグビーは、12月9日で2023年度トップイーストリーグ公式戦が終了しました。

## 東京武蔵野ユナイテッドFCが 一新します



東京武蔵野ユナイテッドFCは原点に立ち返り、2024年から『横河武蔵野FC』へ名前を変更します。育成組織と名前を統一し、地域に根付いたクラブづくりを行っていきます。



横河武蔵野  
スポーツクラブ  
ウェブサイト



生涯学習  
スポーツ課  
加藤真徳さん

スポーツは「する」だけでなく「みる」「ささえる」楽しさがあります。市内ではたくさんのスポーツチームや選手、団体が活動しています。スポーツを通して交流が生まれ、魅力や活力があふれるまちになるよう私たちも皆さんと一緒に応援していきたいと思っています。